

新総務課長に廣川亨さん

北見赤十字病院は今年4月1日付けで人事異動を行いました。新総務課長に廣川亨さんが就任。検査部技師長補佐を兼務。前任の眞壁さんは新しくできた物流情報管理室・副室長に就任。また都度、会への助言を戴けると、心強いかぎりです。先日の例会で、新課長から検査部門についてレクチャーを受けました。その説明内容と新課長の抱負をまとめて寄稿して戴きました。「総務課長としての抱負と検査部門の概略」と題して本号・次号と2回掲載します。

ご紹介いただきました廣川と申しました。臨床検査技師として医療現場の傍らで汗を流して二五年。ご紹介にあられました通り、この春の人事異動にて総務課長を拝命することとなりました。

同じ病院・職場にあっても事務・管理業務など未知の世界、素人同然・・・自身の進退を初めて深く考える困惑の春総務課長に着任した一週間を過ぎた頃だっただけでしょうか、はじめて参加させていただいた「北見赤十字病院の明日を考

え

はじめに自己紹介を

I love fishing!



ひろかわ とある
廣川 亨 (み)
1967年6月5日生まれ 45歳

北見赤十字病院
事務部 総務課長
検査部 技師長補佐

臨床検査技師
認定臨床化学者
未病専門指導師

日本赤十字社臨床検査技師会
精度管理委員会 委員長

北海道臨床衛生検査技師会
研究班 生物化学分析部門 部門員

日本臨床化学会 評議員
日本臨床化学会北海道支部 代表幹事
日本未病システム学会 幹事
Kitami Red Cross HP

妻と息子の3人家族。
息子も進学...家を出て。
今は夫婦二人きり...

趣味は釣りや山歩き。
随筆やコラム寄稿も。
3匹の犬との散歩が日課。
お酒と四方山話が好き。

す。 今回の「オホーツクの風」寄稿にあたり、課題のひとつとして、私の今後の抱負があげられておりますが・・・。

ただただ「一生懸命」の一語しかございません。

地域の皆様とともに、地域医療(健康)の新しいスタイルを前向きに模索、創造する。そして、質の高い医療が未来継続的に提供されるための活動・事業を縁の下にて支えられるだけの力(体力・能力)を養うことが、自身の命題と考えております。

また、医療を担う組織においては、チーム医療が質の担保ともなる昨今の医療体制を踏まえ、医師を中心とする様々な職種が有機的かつ効果的に機能・連携するための潤滑油的役割を担うことが出来ればと考えております。

す。

非力、微力ではあります。前向きに粛々と努めたく思っております。 (左上へ)

臨床検査って??



検体検査

身体の中から取り出した材料(検体)で状況を診る検査



生体検査

身体に直接触れて外から中を診る検査

採血

- 生化学・免疫・血清検査
- 血液・骨髄液・凝固検査
- 尿・一般検査
- 微生物・遺伝子検査
- 輸血検査
- 病理組織・細胞検査

- 心電図検査
- 呼吸器検査
- 脳波検査
- 耳鼻科検査
- 神経・筋検査
- 超音波検査

臨床検査技師は、病院の万屋と言われます...業務権限(制限)が一番広い医療職種だからです...が、身体の中に薬剤などを入れたり、侵襲性の高い医療行為は採血以外、認められていません。

Kitami Red Cross HP

脳波や超音波検査など)外から中を診る生体検査の二つになります。

現在、当院検査部には33名の臨床検査技師、6名の視能訓練士が在籍しており、日々、迅速かつ精度の高いデータ提供に努めております。

また、昨今は、他の医療分野同様に臨床検査の領域でも分野の細分化・専門化が加速度的に進んでおります。

次号につづく平成25年7月吉日

総務課 廣川 亨

編集後記

今回は北見赤十字病院の荒川副院長さんや渋谷医事係長さんに取材のご協力を戴き、また廣川総務課長さんにはご多忙に係わらず寄稿を戴きました。本号の紙面作りにお世話になりました皆さんに厚くお礼を申し上げます。(逢坂記)